

藤田医科大学(前期) 英語

2025年 2月 4日実施

マーク解答

第1問	1	2	3	4	5	6	7	8
	(2)	(3)	(4)	(3)	(4)	(4)	(1)	(3)
第2問	9	10	11	12	13	14	15	16
	(7)	(3)	(1)	(7)	(1)	(2)	(2)	(6)
第3問	17	18	19					
	(2)	(1)	(1)					
第4問	20	21	22					
	(4)	(1)	(1)					

記述解答

第5問

問 1	(i) フィンランドのラップランド地域内の異なる3地点から得られた3本の樹木、及び中緯度地域の3本の樹木について、年輪を調査したところ、1859年に該当する部分では、中緯度地域の樹木と比較して北極地帯の樹木では、炭素14の統計的に有意な増大が確認された。 (ii) 極付近では成層圏と対流圏の間での大気との交換が低緯度地域よりも素早く生じるため、そこでの樹木は、低緯度地域の樹木よりも、炭素14のわずかに大きな注入を受けている可能性がある。
問 2	太陽フレアによる粒子が地球の成層圏に進入すると、それらは大気中の分子と反応し、炭素14を生じる。この通常時よりも多量の炭素14が対流圏に到達し、生きた樹木の組織に吸収されると予想されている。
問 3	Uusitalo らの研究結果が根拠としているのは、極地に生えているたった3本の樹木なので、何であれ結論を導くには、他の高緯度地域の樹木を用いて結果を再現する必要がある。
問 4	う

第6問

(1)	Because omega 3 fatty acids are widely believed to be effective in protecting against heart disease, their consumption in large amounts is being promoted worldwide. (別解) Increased consumption of omega 3 fats is widely promoted globally because of a common belief that it will prevent heart disease.
(2)	In most of the studies, the effects of administering a long-chain omega 3 fat supplement in capsule form were examined and compared with those of a placebo. (別解) Most of the studies looked at the impact of giving supplements of long-chain omega 3 fats in a capsule form, and compared it to a dummy pill.
(3)	According to the Cochrane researchers, increased intake of long-chain omega 3 fatty acids showed little benefit in most of the findings they reviewed. (別解) The Cochrane researchers found that increasing intake of long-chain omega 3 fats provides little benefit on most of the outcomes they looked at.

解説

第1問

文法・語法

- 問 1. (2) All of the staff members who attended the seminar **missed** saying goodbye to their former director.
「セミナーに出席したスタッフ全員が、前部長に別れの挨拶をしそこねた」
<miss doing ~> 「～しそこねる」という表現。他の選択肢はいずれも動名詞を目的語に取れない。
- 問 2. (3) A: Does our supervisor think the professor will deliver a lecture at our university?
B: He guesses **not**. She is extremely sought after by other universities.
A 「私たちの上司は、その教授がうちの大学で講義をされているんですかね」
B 「彼はそうは思っていないでしょう。彼女は他の大学からも引っ張りだこですから」
前後の文脈から、「そうは思わない」という否定で受ける必要がある。
<neither> はこのような形では使えない。
- 問 3. (4) For young children, **two hours feels** as if it were an eternity.
「幼い子供たちにとって、2時間はまるで永遠であるかのように感じられる」
時間や期間を、一つの単位やまとまりとしてとらえる場合、文法上は単数扱いをする。
- 問 4. (3) Looking at some wooden toys in that shop, he was surprised **one** cost over 10,000 yen.
「その店の木製のおもちゃを見て、彼はそのうちの1つが1万円以上することに驚いた」
前述の複数形の名詞の中から、その中の1つの具体的なものを指す代名詞である **one** を選ぶ。
消去法で正解を導き出したい。
- 問 5. (4) Mr. and Mrs. Allen **have gone** to eat lunch, so they will be absent from today's conference.
「アレン夫妻は昼食を食べに行ったので、本日の会議には欠席するだろう」
直後の文脈から、<have gone> 「行ってしまった(ので、今不在である)」を用いると判断する。

- 問 6. (4) Take better care of what belongs to others, **will you?**
 「他人のものをもっと大切に扱いなさい、いいですね？」
 命令文の付加疑問文は、肯定文でも否定文でも “~, will you?” を用いることができる。
- 問 7. (1) The mountain is a splendid site **except that** landslides come about from time to time.
 「時々地滑りが起こることを除けば、その山は素晴らしい場所だ」
 文脈から逆接の意味のある **except** に絞る。直後が完全文であるので **what** は不適。
- 問 8. (3) There are times when you had better **give in to** pressure from your partner.
 「パートナーからのプレッシャーに屈したほうがいい時もある」
 <give in to ~> 「~に屈する、譲歩する」という表現。消去法で正解したい。

第 2 問

語句整序

- 問 1. (7) (3) **Excessive drinking resulted in him damaging his liver** (.)
 意味上の主語として、目的格の **him** を動名詞の **damaging** の直前に置く。
 <result in ~> 「~という結果になる」
- 問 2. (1) (7) **Not a day passes that he doesn't contact** (his mother.)
 <Not a day passes without ~> で「~しない日はない、毎日~する」という意味の表現だが、今回は関係詞節内に否定語を置くことで、同様の意味となっている。
- 問 3. (1) (2) **The care with which the police looked into** (the case enabled them to catch the murderer.)
 「前置詞+関係代名詞」の形を用いて、先行詞の “the care” を修飾する。
 <look into ~> 「~を詳しく調べる」
- 問 4. (2) (6) (I find) **this too complicated a situation to handle** (right now.)
 <too 形容詞 a 名詞> の形を考えられるかがポイント。<too 形容詞 to do ~> と組み合わせられている。

第 3 問

長文総合

- 問 1. “Since most of the major food allergens are nutritionally dense, there is a concern that children who need to avoid these foods because of their allergy will be at risk for a number of nutrient (あ),” Dr. Guerrerio says.
 空所を含む 1 文のおよその意味は「『主要な食物アレルギーのほとんどは栄養価が高いので、アレルギーのためにこれらの食品を避けなければならない子供たちは、多くの栄養~に陥る危険性が懸念されます』とゲレリオ博士は言う」である。前段落において、アレルギーを抑制するためにはアレルギー反応の原因となる数多くの食品を避ける必要があり、そのため子供が栄養価の高い食事を取ることができなくなることがあると記されている。これに続いて空所を含む文が述べられているので、「栄養不足(deficiency)」になる危険があると予想できる。
- 問 2. (1) 「人が食物アレルギーを発症する理由は環境要因及び遺伝的要因と関連がある可能性がある、とゲレリオ博士は考えている」
 第 3 段落第 1 文が根拠となる。その 1 文の意味は「『食物アレルギーの発症には、遺伝的素因と環境中の誘因への曝露の両方が関与している可能性が高いことが明らかになってきています』とゲレリオ博士は述べている」である。

- 問 3. (2) 「TGF-beta タンパク質の重要性に鑑みて、ゲレリオ博士は当該タンパク質の機能障害がどのような過程で食物アレルギーを引き起こすかを研究している」

第 6 段落第 4 文が根拠となる。その 1 文の意味は「TGF-beta タンパク質は免疫系が発達する過程で重要な役割を果たしていることが知られて久しいので、ゲレリオ博士のチームはそのタンパク質の機能を阻害することがどのようにアレルギーを引き起こすかを調べる実験を行っている」である。

第 4 問

長文総合

- 問 1. (4) So when you hold a loved one's hand in a difficult time, it's like you're sharing the burden with them.

「それゆえ、つらい時に愛する人の手を握るのは、相手と重荷を分かち合っているようなものだ」空所を含む第 4 段落最終文の直前に、「コーアンによれば、手を握ることによってストレスに直面したときの脳の負担が実際に軽減されることを、この研究結果は示唆している」とある。手を握ることで、脳にかかる負担を相手と分かち合うことになり、その分、脳の負担が軽減されるという関係があることを筆者は示唆していると考えられる。

- 問 2. (1) “To the human brain, the world presents a series of problems to solve,” Coan said. “And it turns out being alone is a problem.”

『人間の脳に対して、世界は解決すべき一連の問題を提示する。そして、孤独であることが問題であると判明している』とコーアンは述べた

第 7 段落において、手を握ることで、前頭前皮質の活動が低下してしまうという実験結果が述べられているが、この実験結果を受けてコーアンがたどり着いた新たな結論が第 9 段落で述べられている。同段落第 3 文において、「私たちの神経心理学的基盤は誰かにつながりを感じるのだとすれば、どうなるのだろうか」という問いかけによって、人とつながりを感じることを標準的な状態であるという結論を示唆し、続く最終文前半において、「もしかすると、最初からずっと、孤独に感じることを標準からの逸脱だったのかもしれない」と述べている。したがって、コーアンは、孤独であることが解決すべき問題だと考えていると読み取れる。

- 問 3. (1) 「人は自分と親しい人の手を握っている時、前頭前皮質がより活発になるだろうと予想していた」

第 6 段落第 1 文に、「コーアンは、親しい人の手を握ることで、被験者はリラックスし、安心感が増すために、前頭前皮質の活動が活発になるという仮説を立てた」とある。

第 5 問

長文総合 (※以下解説の段落番号は、問 4 で段落挿入を行った上での番号となる。)

- 問 1. (i) で求められているのは、「木はその生息地の緯度によって太陽嵐に対する反応が異なる」という仮説を実証する発見について、その内容を説明することである。これについては、第 4 段落の内容をもとに記述内容を作成すればよい。第 4 段落に含まれる 4 文の意味は次の通りである。

- ① そこでウーシタロのチームは、フィンランドの、北極圏内に位置するラップランド地域内から得られた 3 本の木の年輪と、中緯度地域で得られた 3 本の木の年輪を調査した。
- ② これらの年輪はすべて 1853 年から 1871 年のものである。
- ③ 研究チームは、キャリントン・イベントが起こった年に、極地の樹木の炭素 14 が、中緯度の樹木に比べて統計的に有意に増加していることを発見した。
- ④ このことは、極地の木の年輪を使って中規模の太陽嵐を検出することが可能であることを示している。

下線を付した部分をまとめることで、答案とすることができる。

次に、(ii) で求められているのは、太陽嵐に対する反応が異なる原因として考えられることを述べることである。これについては、第 7 段落第 2、3 文を根拠として記述内容を作成すればよい。そ

これらの意味は次の通りである。

- ① しかし最近の研究によると、北極圏では成層圏と対流圏の大気との交換が、低緯度地域よりも速いことが示されている、とウーシタロは言う。
- ② だから、極地に近いところに生えている樹木は、中緯度地域に生えている樹木よりも、炭素 14 の注入量がやや多く、比較的弱い太陽嵐を感知するセンサーとして優れている可能性があるのだ。

下線を付した部分をまとめることで、答案とすることができる。

問 2. 炭素 14 が、太陽嵐が生じたことの記録となることについて、その記録が残る過程について述べることが求められている。これについては、第 5 段落の内容をもとに記述内容を作成すればよい。第 5 段落に含まれる 3 文の意味は次の通りである。

- ① 太陽フレアは、太陽から地球に向かって高速で流れる粒子のバーストである。
- ② 粒子が成層圏に入ると、大気分子と反応して炭素 14 を生成する。通常、炭素 14 は宇宙線と大気中の窒素との相互作用によって生成される。
- ③ 研究者たちは、太陽粒子によって追加放出された炭素 14 は、最終的に地球で最も低い大気層である対流圏に到達し、そこで生きた樹木の組織に取り込まれ、太陽フレアの記録を保存するという仮説を立てている。

下線を付した部分をまとめることで、答案とすることができる。

問 3. Uusitalo の研究結果に対して、今後どのような研究が必要とされているか、ということをお他の研究者の発言をもとに説明することが求められている。これについては、第 10 段落最終文を根拠として記述内容を作成すればよい。その 1 文の意味は「それでも、今回の研究結果は、極地のたった 3 本の樹木に基づくものでしかなく、何であれ結論を出す前に、他の高緯度地域の樹木でこの結果を再現することが不可欠である、とポーブは述べている」である。

下線を付した部分をまとめることで、答案とすることができる。

問 4. 挿入すべき段落の意味は「これらの樹木年輪における炭素 14 のスパイクは、日本の名古屋大学の物理学者、三宅美沙にちなんで三宅イベントと呼ばれている。彼女は観測されたスパイクを太陽嵐と結びつけた最初の人物である。三宅はその新しい研究の共著者である」である。spike とは急激な増加を表す語である。したがって、樹木年輪における炭素 14 の急増、という内容を述べた部分を捜すことで、挿入すべき箇所がわかるはずである。

炭素 14 の増加について最初に言及されているのは、問 1 でも取り上げた第 4 段落第 3 文である。「研究チームは、キャリントン・イベントが起こった年に、極地の樹木の炭素 14 が、中緯度の樹木に比べて統計的に有意に増加していることを発見した」とある。それに続く第 5 段落でも、問 3 でも取り上げたように、「太陽粒子によって追加放出された炭素 14」というように、「増加」に関する説明がなされている。従って、【う】に段落を挿入するものと予想できる。【う】以外については、炭素 14 の増加に関わる内容が特に述べられていないことも判断の根拠となるだろう。

第 6 問

長文中和文英訳

問 1. 「オメガ 3 脂肪酸は心臓病の予防に効果があると一般的に信じられているため、それを多く摂取することは広く世界規模で推進されている」

本文中にある表現から、「オメガ 3 脂肪酸」 omega 3 fats / omega 3 fatty acids、「～を予防する」 prevent～、「心臓病」 heart disease / diseases of the heart、「～を摂取すること」 intake of～/ consuming～、「広く」 widely などを利用するとよい。

その他「～に効果がある」 be effective in～、「～だと一般に信じられている」 be widely believed to be～、「～を多く摂取すること」 ~'s consumption in large amounts / increased consumption of～、「世

界規模で」 worldwide / globally、「推進されている」 be promoted などとするとよい。

- 問 2. 「ほとんどの研究では、長鎖オメガ 3 サプリメントをカプセル形で与えることの影響が調査され、それと偽の錠剤との比較がなされた」
本文中にある表現から、「研究」 studies、「長鎖オメガ 3」 long-chain omega 3 fats、「影響」 effect、「～との比較がなされる」 (be) compared to ~ / (be) compared with ~ などを利用するとよい。
その他「～をカプセル形で与える」 administering ~ in capsule form / giving ~ in a capsule form、「～を調査する」 examine ~ / look at ~、「偽の錠剤」 a placebo / a dummy pill / a placebo tablet などとするとよい。
- 問 3. 「Cochrane の研究者らによると、彼らが調べた研究結果の大半において、長鎖オメガ 3 脂肪酸摂取量増加による恩恵はほとんど得られていなかった」
本文中にある表現から、「結果」 results、「長鎖オメガ 3 脂肪酸」 long-chain omega 3 fats、「～摂取量」 intake of ~ などを利用するとよい。
その他「～によると…」 according to ~, ... / ~ find that ...、「研究結果」 findings / outcomes、「～摂取量増加」 increased intake of ~ / increasing intake of ~、「～による恩恵はほとんど得られていなかった」 showed little benefit / provides little benefit などとするとよい。なお「得られていなかった」の時制は、Cochrane らの再検討によって明らかになった内容が現在でも当てはまることだと解釈するならば、that 節内を現在形にしてもよい。

講評

<p>第1問 [文法・語法 4 択] (標準)</p> <p>第2問 [語句整序] (標準)</p> <p>第3問 [長文総合] (標準)</p>	<p>標準的な典型問題が大半を占めている。しっかり得点したい。</p> <p>標準的な良問。基本的な知識を正しく運用出来るかが鍵となる。</p> <p>「子どもが食物アレルギーを発症する原因となる遺伝子変異」に関する英文。なじみのあるトピックで出題形式にも変化はないが、確実に答えを出すには全文に目を通す必要がある。</p>
<p>第4問 [長文総合] (標準)</p>	<p>「他人の手を握る行為に対する前頭前皮質の反応」に関する英文。文章内容は標準的ながら、話の流れをしっかりとつかむ必要がある。</p>
<p>第5問 [長文総合] (標準)</p>	<p>「太陽フレアの証拠となる極付近の樹木に残された炭素 14」に関する英文。根拠となる箇所さえ見つけられれば、説明として仕上げるのにはさほど苦勞しない。</p>
<p>第6問 [長文中英訳問題] (標準)</p>	<p>「オメガ3 脂肪酸が健康に与える影響」に関する英文。本文から拾える表現があり、文構造も平易で迷うところはないものの、下線部は昨年度よりも長くなった。基本的な語彙力で差がつく。</p>

2025 年度ふじた未来入試と同様、大問構成は例年通りだが、各大問でのマーク数は変化した。目標は 60%

メルマガ無料登録で全教科配信！ 本解答速報の内容に関するお問合せは… メビオ ☎0120-146-156 まで

<p>医学部進学予備校 メビオ</p> <p>☎0120-146-156 https://www.mebio.co.jp/</p>	 <small>heart of medicine</small> YMS <small>医学部専門予備校</small> 英進館メビオ 福岡校	<p>☎ 03-3370-0410 https://yms.ne.jp/</p> <p>☎ 0120-192-215 https://www.mebio-eishinkan.com/</p>	 登録はこちらから
---	--	---	---

<p style="background-color: #f9c74f; padding: 5px; text-align: center;">諦めない受験生をメビオは応援します！</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">医学部後期入試</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">ガイダンス 参加無料</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">2/11 (火・祝)</p> <p>14:00～14:30 医学部進学予備校メビオ校舎</p> <p style="font-size: 0.8em;">詳細やお申込はこちらから </p>	<p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">私立医学部</p> <p style="font-size: 2em; font-weight: bold;">大学別後期模試</p> <p style="font-size: 1.2em; font-weight: bold; background-color: #0056b3; color: white; padding: 5px;">2025 年 入試対策</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 15%;">2/13</td> <td style="width: 65%;">近畿大学医学部</td> <td rowspan="5" style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;"> 詳細やお申込はこちらから  </td> </tr> <tr> <td>2/19</td> <td>金沢医科大学</td> </tr> <tr> <td>2/20</td> <td>昭和大学医学部</td> </tr> <tr> <td>2/23</td> <td>聖マリアンナ医科大学</td> </tr> </table>	2/13	近畿大学医学部	詳細やお申込はこちらから 	2/19	金沢医科大学	2/20	昭和大学医学部	2/23	聖マリアンナ医科大学
2/13	近畿大学医学部	詳細やお申込はこちらから 								
2/19	金沢医科大学									
2/20	昭和大学医学部									
2/23	聖マリアンナ医科大学									
<p>医学部進学予備校 メビオ <small>フリーダイヤル</small> ☎0120-146-156</p>	<p>校舎にて個別説明会も随時開催しています。 【受付時間】 9:00～21:00 (土日祝可)</p>		<p>大阪府大阪市中央区石町 2-3-12 ベルヴォア天満橋 天満橋駅(京阪/大阪メトロ谷町線)より徒歩3分</p>							